

第4回相知市民センター庁舎改築等検討委員会議事録

1. 会議の年月日及び場所

平成30年2月28日（水）相知市民センター別館2階第1会議室

2. 開会及び閉会の時刻

午後6時00分～午後7時00分

3. 委員の出席状況

小野史朗委員長（相知地区駐在員会中央地区代表）
大澤定男副委員長（相知地区駐在員会西川地区代表）
小松勲委員（相知地区駐在員会東川地区代表）
井手聡委員（相知地区駐在員会北部地区代表）
小路孝輔委員（唐津東商工会青年部常任委員）
塚本幸二委員（唐津市老人クラブ連合会相知支部事務局長）
松本常喜委員（唐津市相知地区民生委員児童委員協議会副会長）
佐伯玄一郎委員（相知小学校育友会会長）
中武友子委員（相知町地域婦人会副会長）
井手康之委員（唐津市消防団相知支団本部部長）
古館勲委員（唐津市社会福祉協議会相知支所長）
田中智夫委員（唐津市集落支援員）

4. 事務局の出席状況

佐々木市民センター長、黒木総務教育課長、福山産業課長、大塚市民支援係長、居石市民支援係長

5. 会議の概要

- (1) 開会
- (2) 市民センター長のあいさつ
- (3) 議事

議事1 市民センター庁舎改築基本計画(案)及びこれまでの検討状況について事務局より説明。

【委員長】

事務局にて説明されたが、市民センター庁舎改築基本計画(案)及びこれまでの検討状況について委員の意見を伺いたい。

【委員】

図書館と浦の川スポーツセンターも含めて新庁舎建設計画を進めるのか。

【事務局】

市民センター庁舎は地域コミュニティの拠点として多機能型の複合施設

化を推進することとなっており、図書館も含めた新庁舎建設を進めたい。また、浦の川スポーツセンターについては、耐震補強工事に係る国庫補助金の処分制限がなくなった後に解体の協議を行いたい。

【委員】

合併特例債の適用期間が延長されるのか。

【事務局】

合併特例債は期間延長に向けて検討されていると聞いているが、期間の延長のみで合併特例債の借入限度額の枠自体は拡大されないと思われ、相知市民センター庁舎改築の財源としては難しいのではと考えている。

議事2 新庁舎への図書館機能集約に対する意見聴取について事務局より説明。

【委員】

新庁舎内に図書館機能も集約することで検討を進めて欲しいが、市町村合併を経た現状では相知図書館という名称には違和感を覚える。近隣の巖木、北波多、鏡、鬼塚、久里地区などの利用者の取り込みを進める観点からも地域の名称は外した方が良い。

【委員】

私も図書館機能は残し新庁舎に入れるべきだと考える。確かに今の相知図書館の利用率は低調だと思うので、今後は更に図書館の意義、必要性を認識させるような取り組みを進めて利用率の向上を図っていくべき。

【委員】

児童・生徒の放課後の居場所確保を考えると図書館機能は新庁舎内に配置すべき。

【事務局】

本日のご意見を教育委員会に伝え、図書館の今後の取り扱い方針の早急な決定を促していきたい。

庁舎改築基本計画については、今後、図書館の取り扱い方針が決定され、新庁舎に集約する機能が確定した後に基本計画を策定していくこととなるため、委員に皆さまには平成30年度の検討委員会でも引き続きご意見をいただくようお願いしたい。

また、基本計画が策定される前には、新庁舎内の機能面についての要望等も伺っていきたい。

(4) 閉会